

日本財団 人生の最期の迎え方に関する全国調査

2021/3/29

調査概要

調査目的
調査手法
調査対象者
調査期間

人生の最期をどのような場所でどのように迎えたいかについて、看取る側と看取られる側の両方の考え、思いを明らかにする。また、その背景には、人生に対するどのような価値観があるのかを把握する。

Web定量調査

- 対象者条件
 - ・全国

<看取り層=子ども世代> ※親御さんを「看取る」ことを想定して回答してもらった
 ・**35歳～59歳かつ、親あるいは義親（の1人以上）が67歳以上で存命の男女**

<看取られ層=親世代> ※「看取られる」ことを想定して回答してもらった
 ・**67歳～81歳の男女**

- サンプル数とサンプル割り付け ※本調査の全体スコアは、スクリーニング調査の結果から市場構成比を算出している。

子ども世代		計484サンプル	回収	WB後
67歳以上の親と同居	男性	35-39歳	37	10
		40代	42	34
		50代	42	23
	女性	35-39歳	37	6
		40代	42	26
		50代	42	21
67歳以上の親が存命だが、非同居	男性	35-39歳	37	25
		40代	42	82
		50代	42	68
	女性	35-39歳	37	32
		40代	42	87
		50代	42	70

親世代		計558サンプル	回収	WB後
一人暮らし	男性	67歳-71歳	31	14
		72歳-76歳	31	9
		77歳-81歳	31	5
	女性	67歳-71歳	31	17
		72歳-76歳	31	18
		77歳-81歳	31	21
夫婦	男性	67歳-71歳	31	56
		72歳-76歳	31	50
		77歳-81歳	31	44
	女性	67歳-71歳	31	60
		72歳-76歳	31	52
		77歳-81歳	31	36
2世帯以上同居	男性	67歳-71歳	31	33
		72歳-76歳	31	28
		77歳-81歳	31	16
	女性	67歳-71歳	31	37
		72歳-76歳	31	31
		77歳-81歳	31	29

2020年11月27日（金）～30日（月）

調査対象者プロフィール

35歳～59歳

67歳～81歳

		全体	子ども世代			親世代		
			全体	男性	女性	全体	男性	女性
(%)	N=	1042	484	242	242	558	256	302
性別	男性	47.8	50.0	100.0	0.0	45.9	100.0	0.0
	女性	52.2	50.0	0.0	100.0	54.1	0.0	100.0
年齢(才)	平均	61.1	47.3	47.6	47.0	73.0	72.9	73.2
	最小値	35.0	35.0	35.0	35.0	67.0	67.0	67.0
	最大値	81.0	59.0	59.0	59.0	81.0	81.0	81.0
地域	北海道	6.3	7.4	4.9	9.9	5.3	4.3	6.2
	東北地方	6.0	7.0	8.8	5.2	5.2	6.2	4.4
	関東地方	41.3	34.3	31.9	36.7	47.4	48.7	46.3
	中部地方	13.0	16.1	19.0	13.2	10.3	10.9	9.8
	近畿地方	20.3	19.3	18.8	19.8	21.2	20.7	21.7
	中国地方	4.7	6.1	5.7	6.5	3.4	3.8	3.1
	四国地方	2.0	2.4	1.5	3.4	1.5	1.6	1.5
	九州地方	6.4	7.4	9.5	5.3	5.6	3.8	7.1
既婚率		75.2	71.8	68.9	74.7	78.2	86.8	70.9
子あり率		76.2	63.7	62.8	64.7	87.1	85.8	88.1
世帯年収	ウエイト平均 (万円)	499	589	643	531	429	459	403
個人年収	ウエイト平均 (万円)	278	339	515	150	229	338	132
職業	公務員	2.5	4.6	7.8	1.5	0.7	1.5	0.0
	経営者・役員	1.3	1.2	2.3	0.0	1.5	2.9	0.3
	会社員(事務系)	7.9	16.2	17.2	15.2	0.7	1.6	0.0
	会社員(技術系)	6.9	13.3	24.8	1.8	1.3	2.6	0.2
	会社員(その他)	9.4	17.3	30.0	4.7	2.6	5.6	0.0
	自営業	4.7	4.4	6.3	2.4	5.0	7.4	2.9
	自由業	1.5	2.0	2.3	1.8	1.1	1.5	0.8
	専業主婦(主夫)	27.8	17.0	0.6	33.4	37.2	0.4	68.3
	パート・アルバイト	13.1	17.7	3.6	31.8	9.2	10.5	8.1
	学生	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	2.9	2.5	1.9	3.0	3.3	3.8	3.0
	無職	21.8	3.7	3.1	4.4	37.5	62.2	16.4
可処分所得	平均 (円)	30,068	25,531	32,511	18,712	34,123	36,954	31,720

調査結果サマリー

「人生の最期を迎えたい場所」でいちばん望ましいのは、自宅。理由は「自分らしくいられる」から。

いちばん望ましい場所は「自宅」（58.8%）、次いで「医療施設」（33.9%）
自宅は「自分らしくいられる」「住み慣れている」、医療施設は「家族に迷惑をかけたくない」から

絶対に避けたい場所は「子の家」、次いで「介護施設」。家族の負担を懸念しつつ、介護施設へは拒否感。

絶対に避けたい場所は「子の家」（42.1%）、次いで「介護施設」（34.4%）

独居世帯が最期を迎えたい場所は、「医療施設」の割合が高まり「自宅」と同率。

絶対に避けたい場所は、他世帯と変わらず「介護施設」（39.5%）

場所選びのポイントは、「自分らしさ」「落ち着ける」と「プロに任せる」「家族に迷惑をかけたくない」

人生の最期を迎えたい場所としてその場所を選んだ理由、自宅を選んだ理由は、「自分らしくいられる」、「住み慣れた落ち着ける場所」。
医療施設、介護施設を選んだ理由は、「プロに任せられる」、「家族に負担や迷惑をかけたくない。」

「自分らしく生きたい」が約7割。前向きな姿勢で暮らす高齢者は多い。

現在の価値観：約8割が「自分に与えられた生を精いっぱい生きようと思う」「死ぬときに悔いが残らないようが生活がしたい」
今後の暮らし方：約7割が「自分らしく生きていきたい」、半数以上が「家族や友人を大切にしたい」「やすらぎのある暮らしがしたい」

人生の最期は、「治療して延命」より、「無理に治療をせずに、体を楽にさせることを優先」したい。

人生の最期は、約9割が「積極的な治療を受けて、1分1秒でも長く生きる」より、「無理に治療をせずに、体を楽にさせることを優先」したい

親の心、子知らず。子の心、親知らず。人生の最期についてお互いの思いにすれ違い。

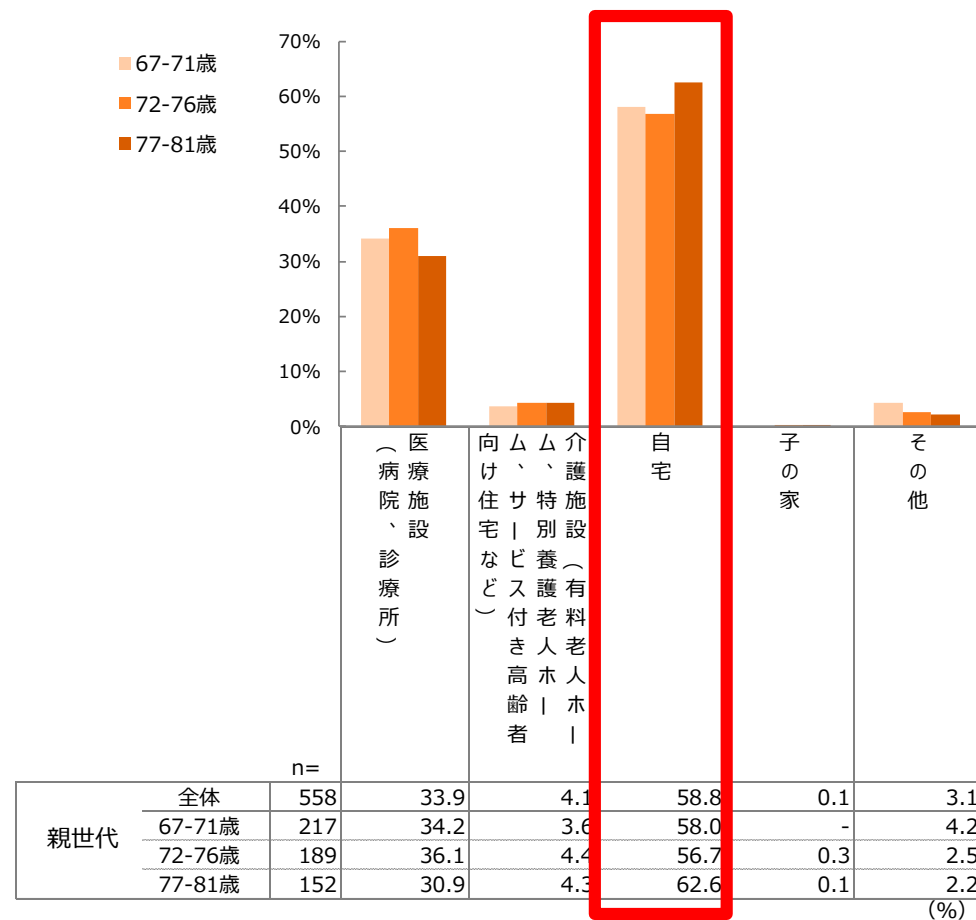
親は、約8割が人生の最期に「家族に負担をかけたくない」が、子どもはその実態を知らない。
子どもは、親に「積極的な医療を受けられること」「可能な限り長生きすること」を望むが、親はそれほど望んでいない。

**人生の最期について家族等と話し合っている人（全体の7割）の特徴は、
「生きがいやりがいあり」、「近所付き合い多く」、「地縁活動が熱心な地域に住んでいる。」**

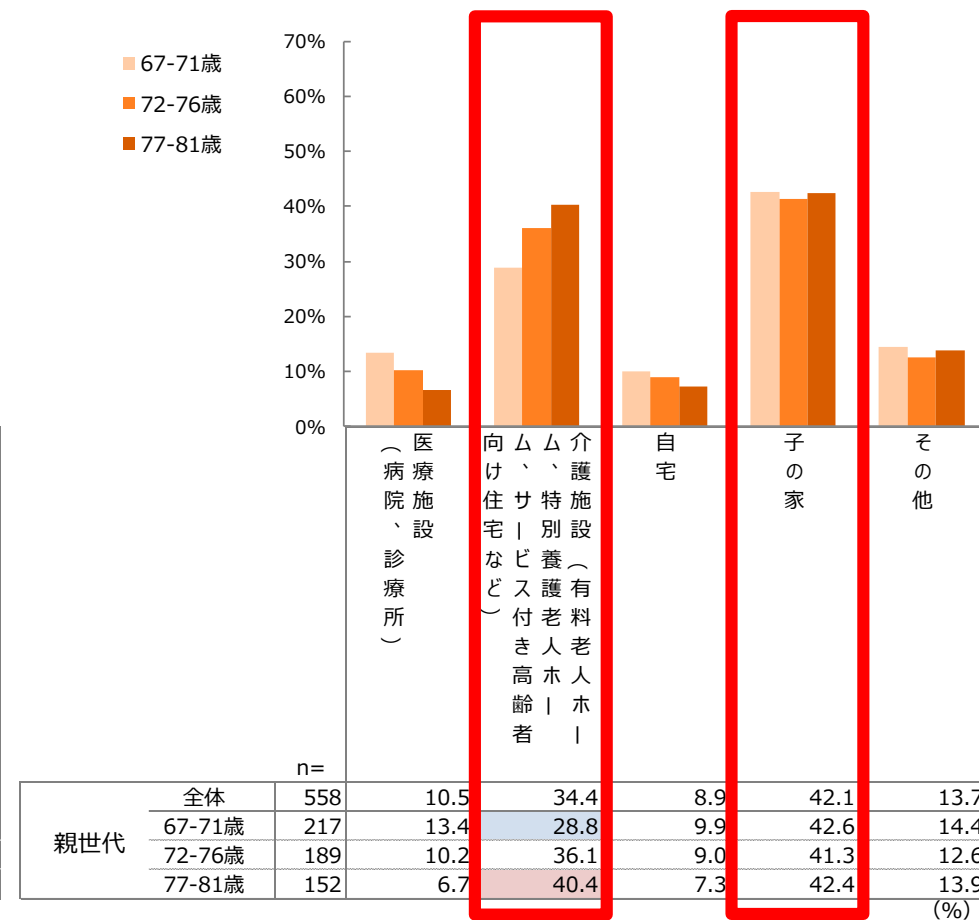
Q.あなたは、死期が迫っているとわかったときに、人生の最期をどこで迎えたいですか。（単一/複数回答）

- 一番、望ましい場所は、約60%の人が「自宅」を選択。
- 絶対避けたい場所は、「子の家」と「介護施設」。「介護施設」は年齢が上がるほど、避けたい割合が増える。

【一番、望ましい場所（単一回答）】



【絶対に避けたい場所（複数回答）】



N≥30の場合
全体と比べて
+10pt
+5pt
-10pt
-5pt

Q. 「一番、望ましい場所」を選んだ理由をお答えください（フリーアンサー）

自宅

安心できる・なじみがあるから

- 一番安心できる場所。（81歳,男性）
- 長年住み慣れたところで、思い出がいっぱいあるから。（73歳,女性）
- 長年暮らした愛着のある我が家で、心穏やかに最後を迎えたい。（71歳,女性）
- 生まれ育った場所であるから。（76歳,男性）

最期まで自分らしく過ごしたいから

- 自分らしく生きる、死ぬ時も自分らしく死にたい。長年住み慣れた、自宅以外考えられない。（78歳,女性）
- 好きな音楽を聴きながら、過ごすことができる。（80歳,男性）
- 最後まで自分が自分らしく過ごせる場所。（72歳,女性）
- 自分らしくいられるし、自由に過ごせるから。（67歳,女性）
- 最後の瞬間くらい自分自身でいたい。（77歳,男性）

自分で建てた家だから

- 働いていたときは、転勤のため全国を転々としていた。定年になってやっと自宅に帰ってきて今に至っており、自宅には愛着がある。（71歳,男性）
- 家は自分で選んで住んだところだから。（74歳,女性）
- 自分のために今までの全てをかけて準備した場所だから。（72歳,女性）

自然だから

- 医療の助けを得ないで死にたい。（75歳,男性）
- 自宅で普通に生活していて、老衰で最後を迎えられたらいい。（67歳,男性）
- 人間はその人のできる範囲の生活を自宅でつづけて管に繋がれたり、過剰な医療を受けずに自然になくなることができそうなので。（70歳,女性）
- 病院は治療する場で、最期を迎える場ではない。（72歳,男性）

家族に囲まれていたいから

- 家族と最後をじっくり過ごせたら、そのためには自宅が最適。（69歳,女性）
- 迷惑をかけるけど家族に看取られたい。（76歳,女性）

余計なお金をかけないため

- 勝手がわかっているところで余計なお金がかからないこと。（69歳,女性）
- 病気で入院して、色々と費用をかけたくない。（79歳,女性）

医療施設

家族に迷惑をかけないため

- 私のように子どもに親の世話をさせるのは気の毒なのでさげたい。（70歳,女性）
- 自宅の自分のベッドは居心地は最高ですが、家族が面食らって対応に困るのではないかと危惧するからです。病院なら対応に納得出来ると思う。（68歳,女性）
- 家族に負担を掛けたくない気持ちから。（74歳,男性）
- 自宅が一番気持ちの上では落ち着くとは思いますが、そのためにはどうしても家族に負担が掛かってしまう。それ以外では病院がのこる家族にとって良い。（76歳,女性）

専門家なので安心だから

- 家族を煩わせることなく、プロのサポートで安心できる。（75歳,女性）
- 苦しかったり痛い時は薬にしてもらえらるだろうから。（81歳,女性）
- 痛みがあるのは嫌なので出来れば病院でと思う。（67歳,女性）
- 死後処理がスムーズに行く思う。（73歳,男性）

他に選択肢がないから

- 救急車を呼ばれたら行かざるを得ない。（78歳,女性）
- ひとりなので、病院しか選択肢はないように思うだけで、望んでいるわけではない。（79歳,女性）

介護施設

家族に迷惑をかけないため

- 子どもの迷惑になりたくない。（71歳,男性）
- 家族に迷惑をかけないで済む。（78歳,女性）

専門家なので安心だから

- 介護してくれる人がいるので一番安心かなと思う。（67歳,女性）
- プロとしてしっかりケアして貰えるから。（77歳,女性）

孤独死を避けるため

- 独身で子どもや孫はいないので、最後は介護施設に入居するつもり、この場所で最期を迎えたい。（72歳,女性）
- 孤独死を避け最期の時に誰かがそばにいてくれる。（77歳,男性）

Q. 「一番、望ましい場所」を選んだ理由をお答えください。

- <自宅> は自分らしくいられる、住み慣れた落ち着ける場所として選ばれている。
- <医療施設> <介護施設> はプロに任せられる安心から選ばれている。
- <医療施設> <介護施設> は、家族に負担や迷惑をかけたくないという意識から選ばれている。

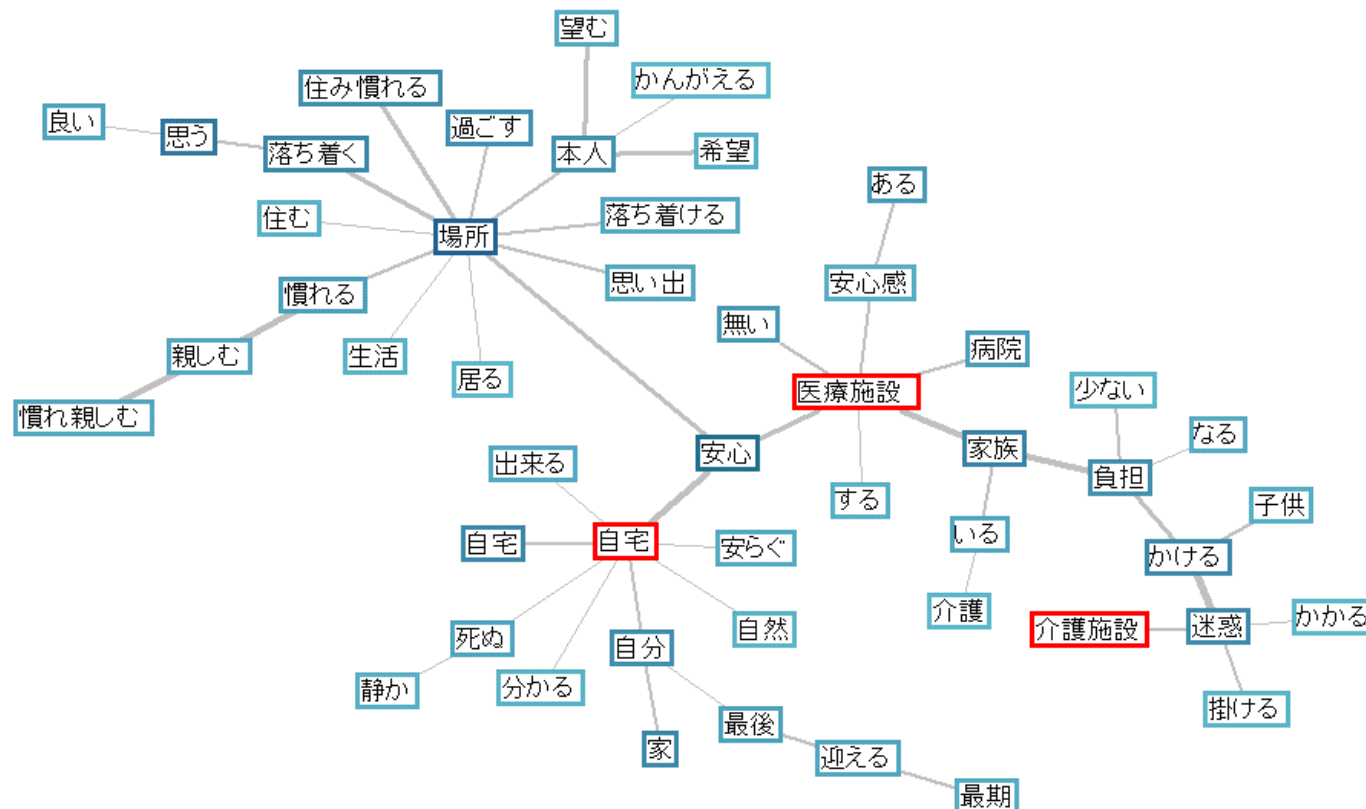
◆ 頻出キーワード (上位25位)

<自宅>	順位	キーワード	出現頻度
	1	場所	57
	2	自宅	56
	3	自分	37
	4	思う	28
	5	過ごす	26
	6	住み慣れる	24
	7	安心	23

<医療施設>	順位	キーワード	出現頻度
	1	家族	58
	2	迷惑	40
	3	負担	38
	4	かける	37
	5	思う	34
	6	病院	24
	7	無い	21

<介護施設>	順位	キーワード	出現頻度
	1	迷惑	7
	2	かける	5
	3	子供	4
	4	なる	3
	4	家族	3
	4	最後	3
	4	いる	3
	4	施設	3

◆ キーワードマップ



Q.もし、親御さんが、最期を「自宅」で迎えることを望んだとしたら、 心配な点や困りそうな点、気になる点がありますか。(当てはまるものすべて(いくつでも))

- 子ども世代が心配することは、「どのくらいの期間が必要かわからない」こと、
次いで「何をしたらよいかかわからない」こと。



「親世代 全体」降順

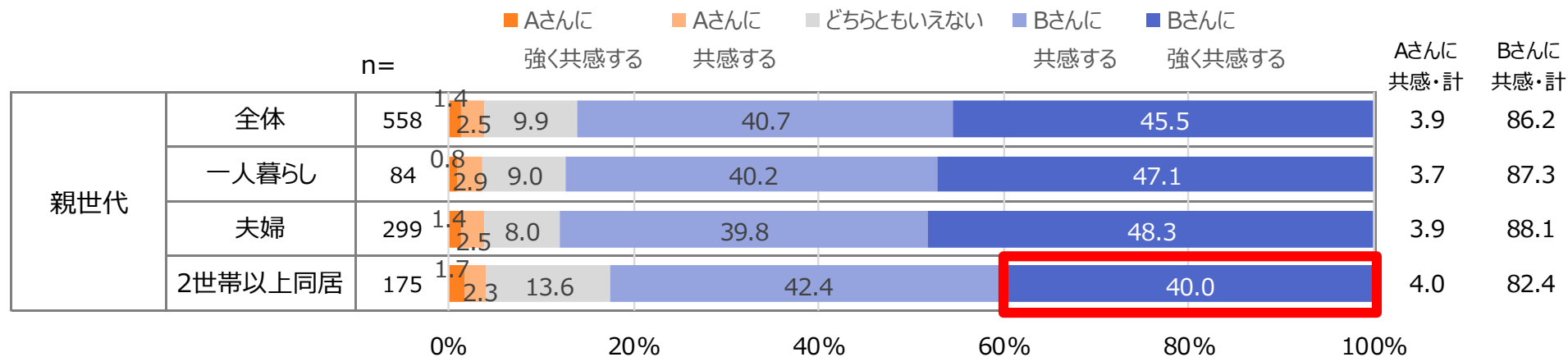
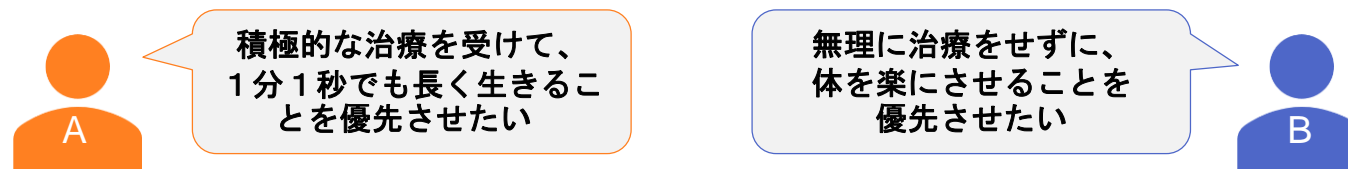
N≥30の場合
全体と比べて
+10pt
+5pt
-10pt
-5pt

親世代は「最期を迎えたい場所」で「自宅」回答者ベース
Q.前問でお答えになった「最期を迎えたい場所」で、もし最期を迎えることになった場合、心配な点や困りそうな点、気になる点がありますか。当てはまるものをすべてお答えください。

※一部、子ども世代と親世代で提示した項目が異なる。「/」の上(左)が子ども世代、「/」の下(右)が親世代に提示した項目。また、「自分の好きなことができない」「知り合いがいらない」「何をしたらよいかかわからない」は片方だけに提示している。

Q.人生の最期について、Aさん、Bさんのどちらに共感しますか。

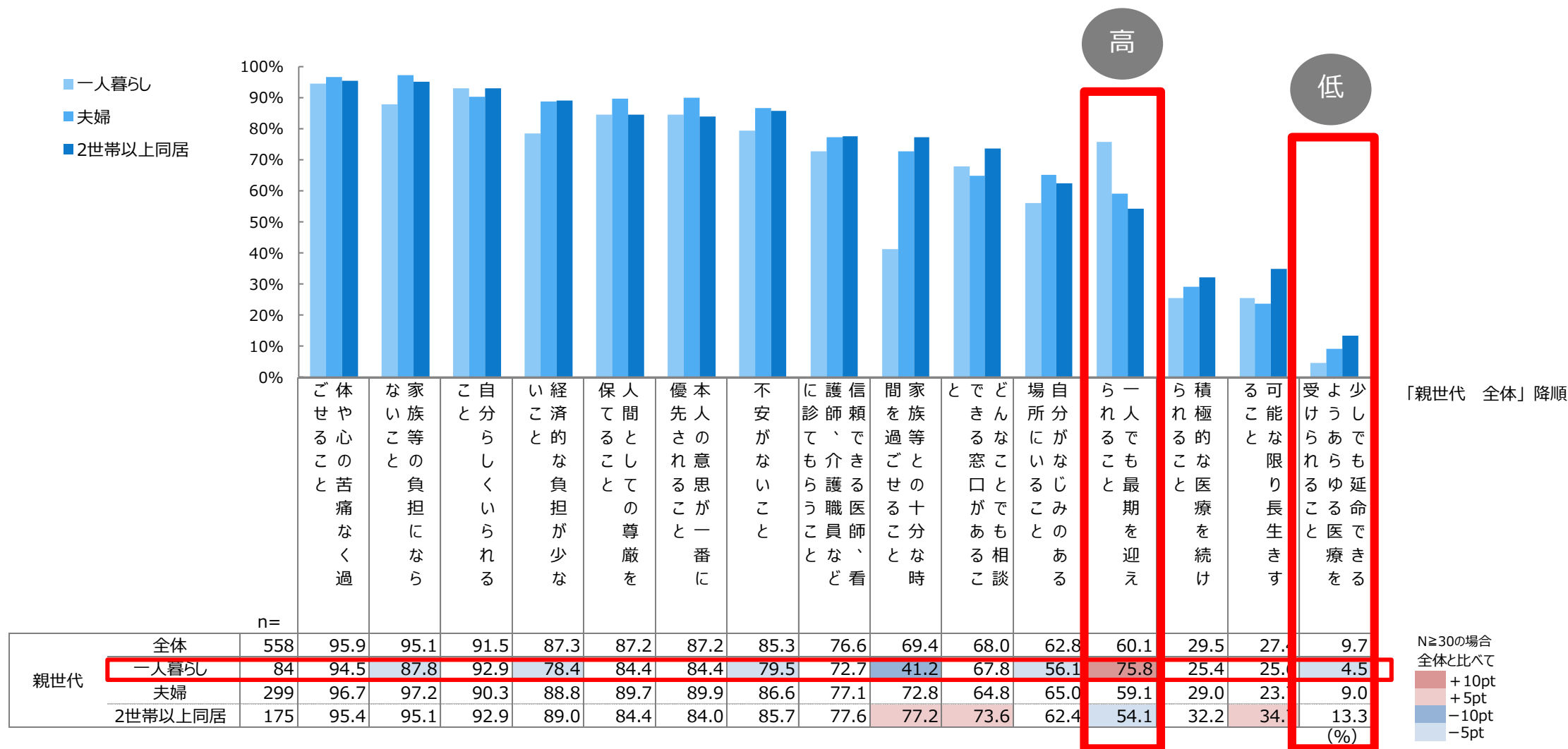
- 「Bさん（無理に治療をせずに、体を楽にさせることを優先）」への共感度合いが高い。
- 一人暮らしの人とその他世帯の人とに大きな乖離はなし。
- ただし、2世帯以上同居の人は、他と比べて「Bさん（無理に治療をせずに、体を楽にさせることを優先）」への強い共感度合いは低め。



Q.死期が迫り人生の最期をどこで迎えたいかを考える際に、あなたにとって重要だと思うことは何ですか。

(単一回答マトリクス形式)

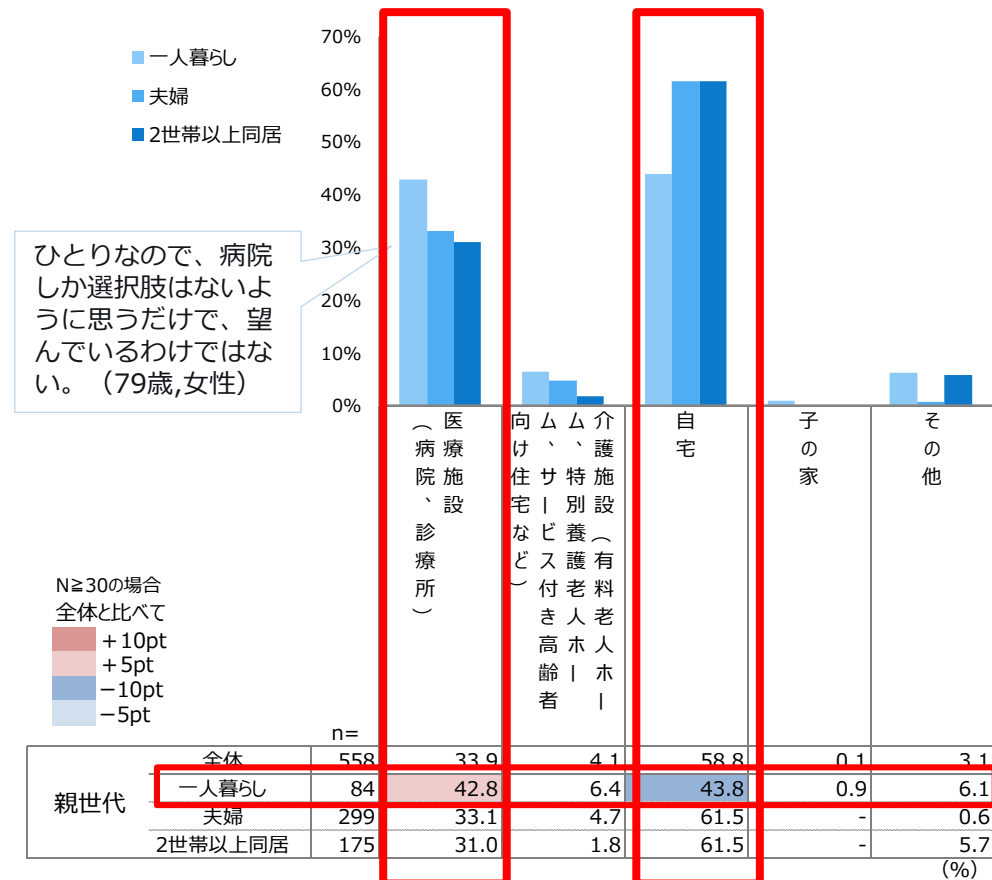
- 一人暮らしの親世代の8割近くは、「一人でも最期を迎えられること」を重視している。



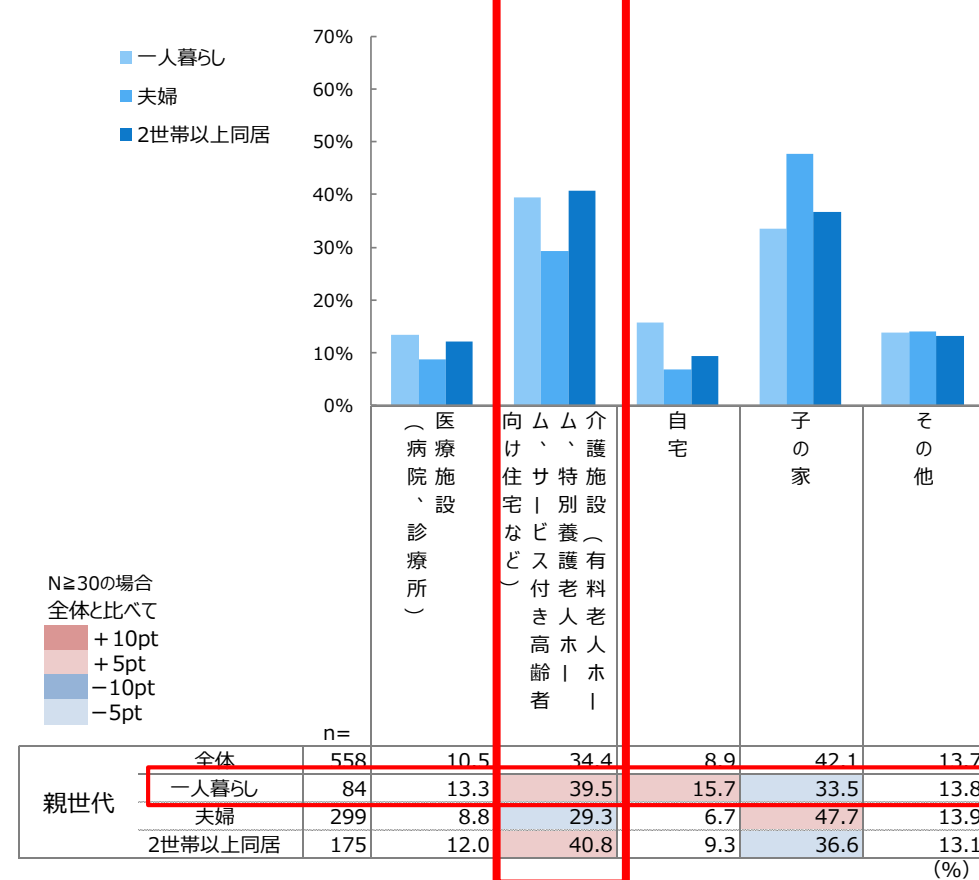
Q.あなたは、死期が迫っているとわかったときに、人生の最期をどこで迎えたいですか。(単一/複数回答)

- 一人暮らしの親世代の最期を迎えたい場所は、「自宅」「医療施設」がほぼ同率で約4割。

【一番、望ましい場所（単一回答）】

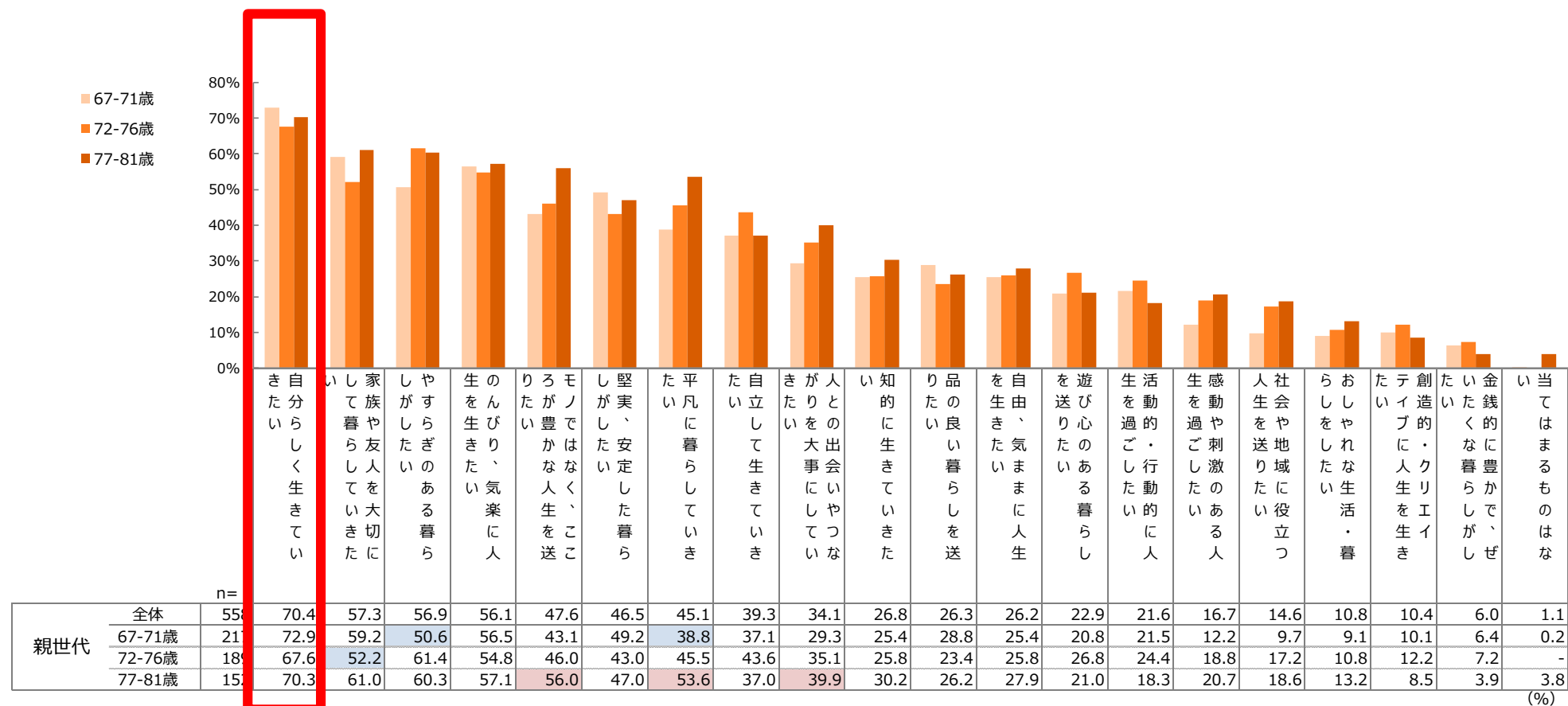


【絶対に避けたい場所（複数回答）】



Q.あなたの生活に対する意識について伺います。当てはまるものをすべてお答えください。（複数回答）

- 一番は、「自分らしく生きていきたい」で70%
- 77-81歳は、「モノではなく、こころが豊かな人生を送りたい」「平凡に暮らしていきたい」「人との出会いやつながりを大事にしていきたい」などが高め。
- 上記は、年齢が上がるほど高い。

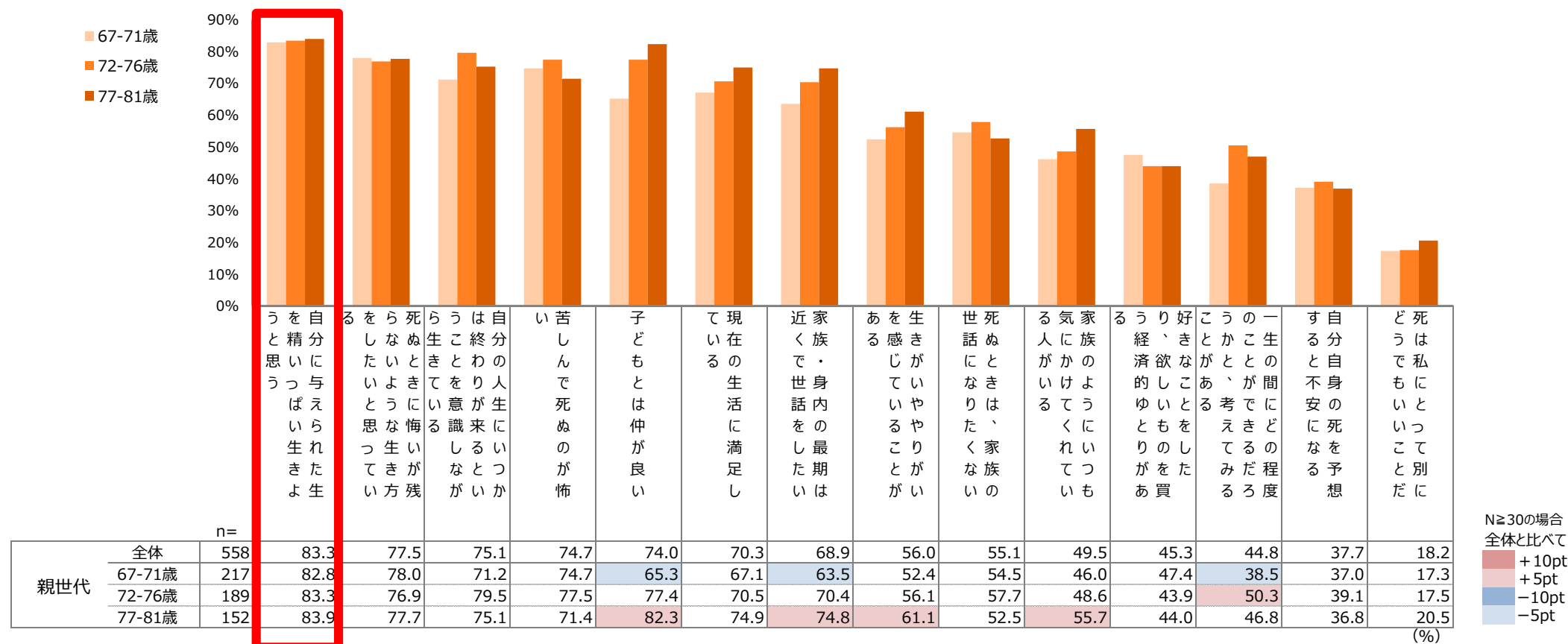


「親世代 全体」降順

N≥30の場合
全体と比べて
+10pt
+5pt
-10pt
-5pt

Q.現在のあなたの状況やお考えについて、当てはまるものをお答えください。（単一回答マトリクス形式）

- 一番は、「自分に与えられた生を精いっぱい生きようと思う」
- 77-81歳は、「子どもとは仲が良い」「家族・身内の最期は近くで世話をしたい」「生きがいややりがいを感じていることがある」「家族のようにいつも気にかけてくれている人がいる」などが高め。
- 上記は、年齢が上がるほど高い。



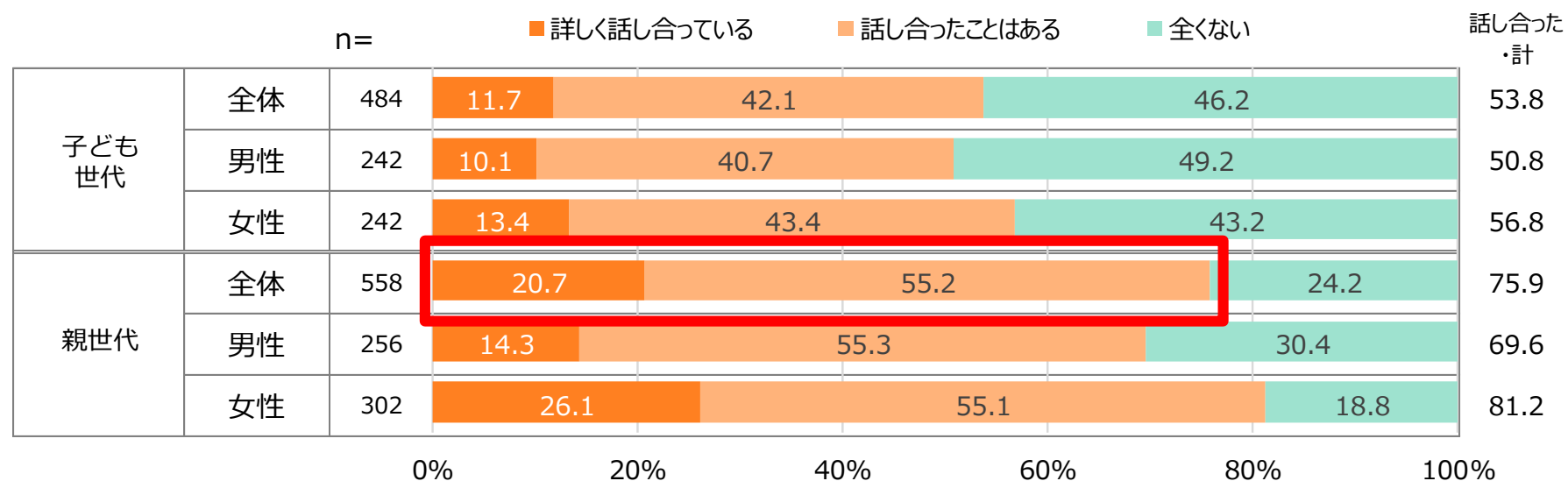
N≥30の場合
全体と比べて
+10pt
+5pt
-10pt
-5pt

Q.以下について、これまでに【親御さんと/ご家族と】話し合ったことはありますか。

※子ども世代には【親御さんと】、親世代には【ご家族と】について聴取。（単一回答マトリクス形式）

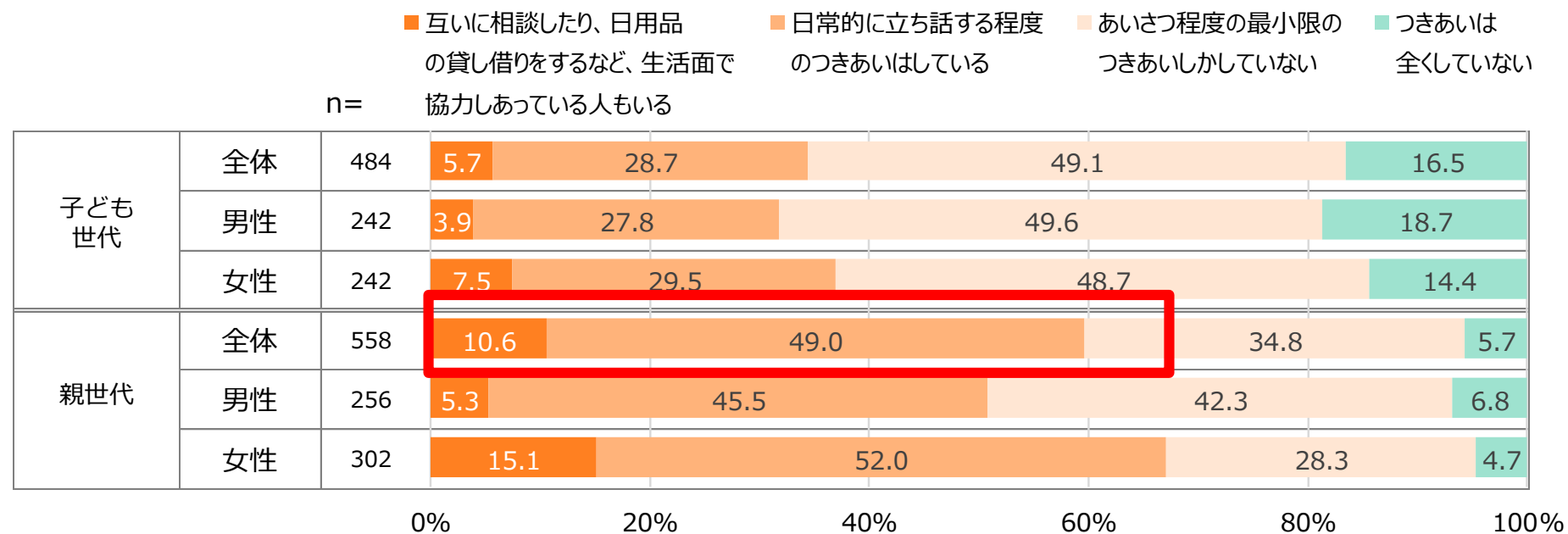
- 子ども世代の53.8%、親世代の75.9%が家族と「お葬式・お墓」「人生の最終段階における、受きたい（受けたくない）医療・療養」「財産などの相続」「最期の迎えかた」「最期を迎える場所」のいずれかについて話し合った経験がある。

「お葬式・お墓」「人生の最終段階における、受きたい（受けたくない）医療・療養」「財産などの相続」「最期の迎えかた」「最期を迎える場所」のいずれかについて



Q.あなたは、ご近所の方とどのようなおつきあいをされていますか。(単一回答)

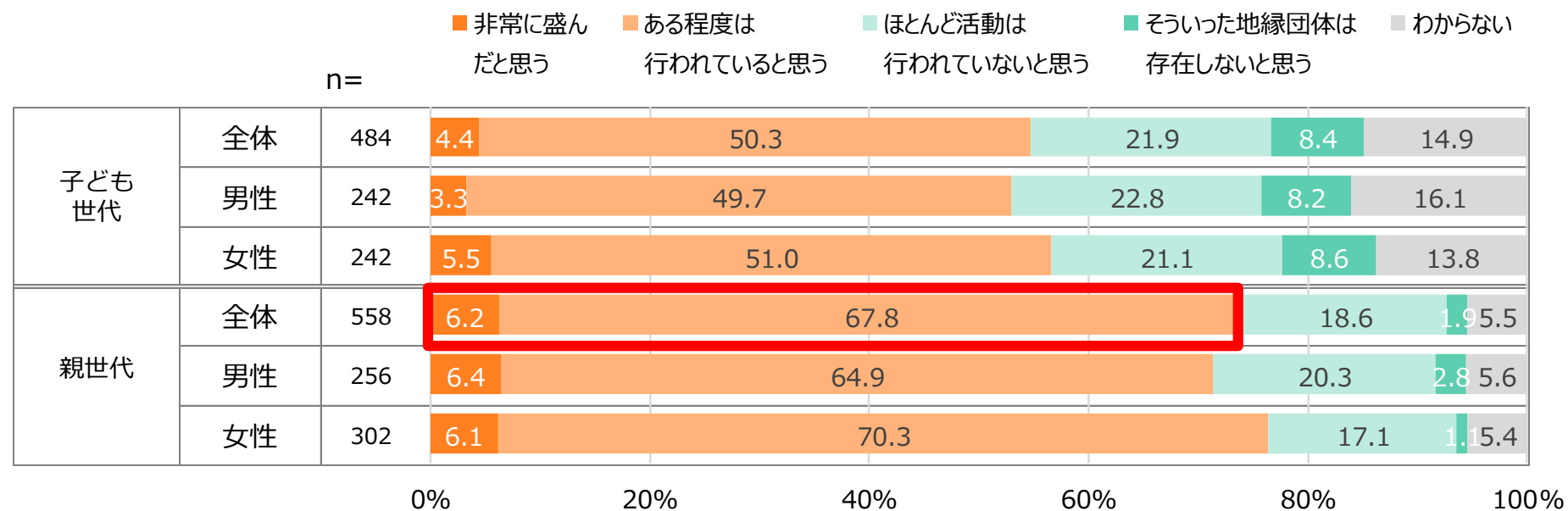
- 親世代は子ども世代と比べて、近所付き合いをしている。
- 特に、親世代女性は、よく近所付き合いをしている。



Q.あなたのお住まいの地縁的な活動（自治会、町内会、老人会、青年団、子供会など）はどのような状況ですか。

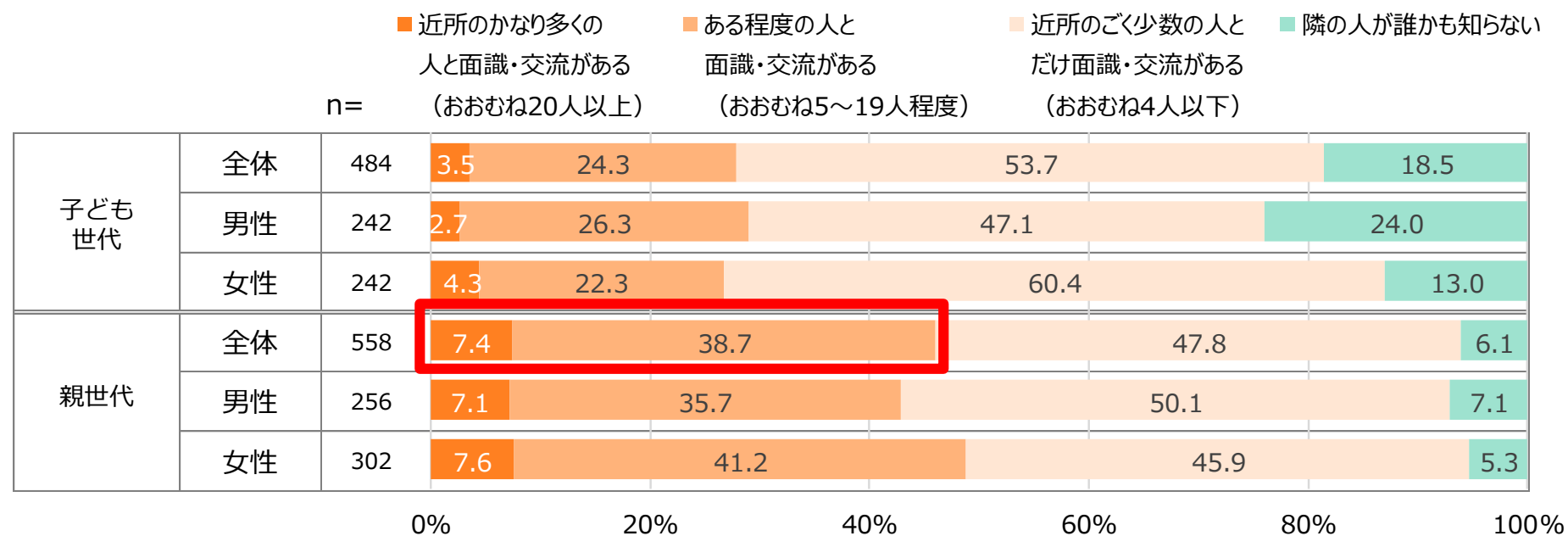
(単一回答)

- 親世代の7割以上が、地縁的な活動が行われていると回答。



Q.ご近所でききあっている人の数はどのくらいですか。(単一回答)

- 親世代は子ども世代と比べて、近所付き合いをしている人数が多い。
- 特に、親世代女性は近所付き合いの人数が多い。



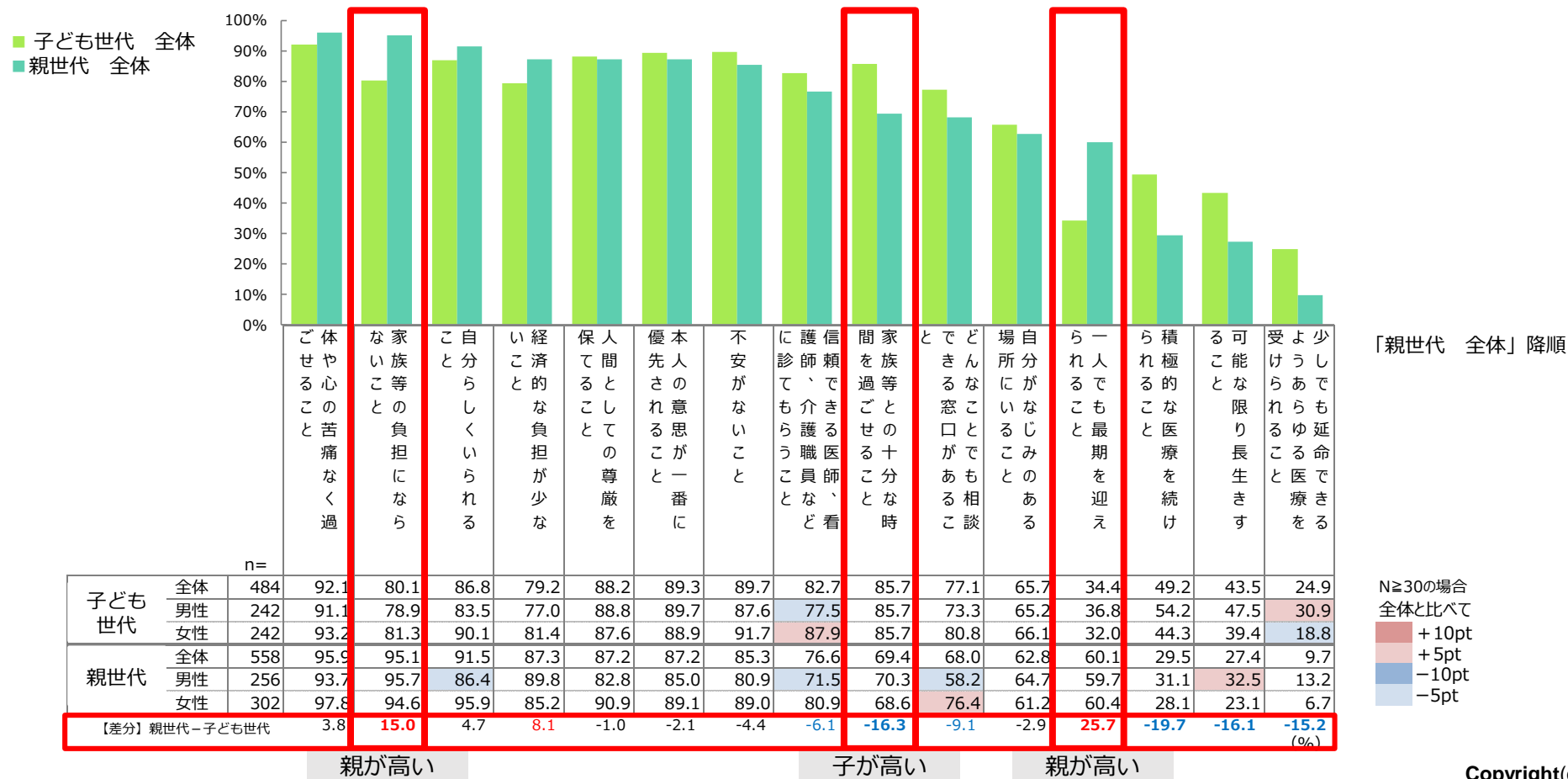
Q.死期が迫り人生の最期をどこで迎えたいかを考える際に、あなたにとって重要だと思うことは何ですか。

Q.親御さんに死期が迫って人生の最期をどこで迎えたいかを考える際に、

あなたからみて親御さんにとって重要だと思うことは何ですか。(単一回答マトリクス形式)

親は「家族の負担にならないこと」「一人でも最期を迎えられること」を(子より)望む。 ■

子は、(親が)「家族等との十分な時間を過ごせること」を望んでいると思っている。 ■

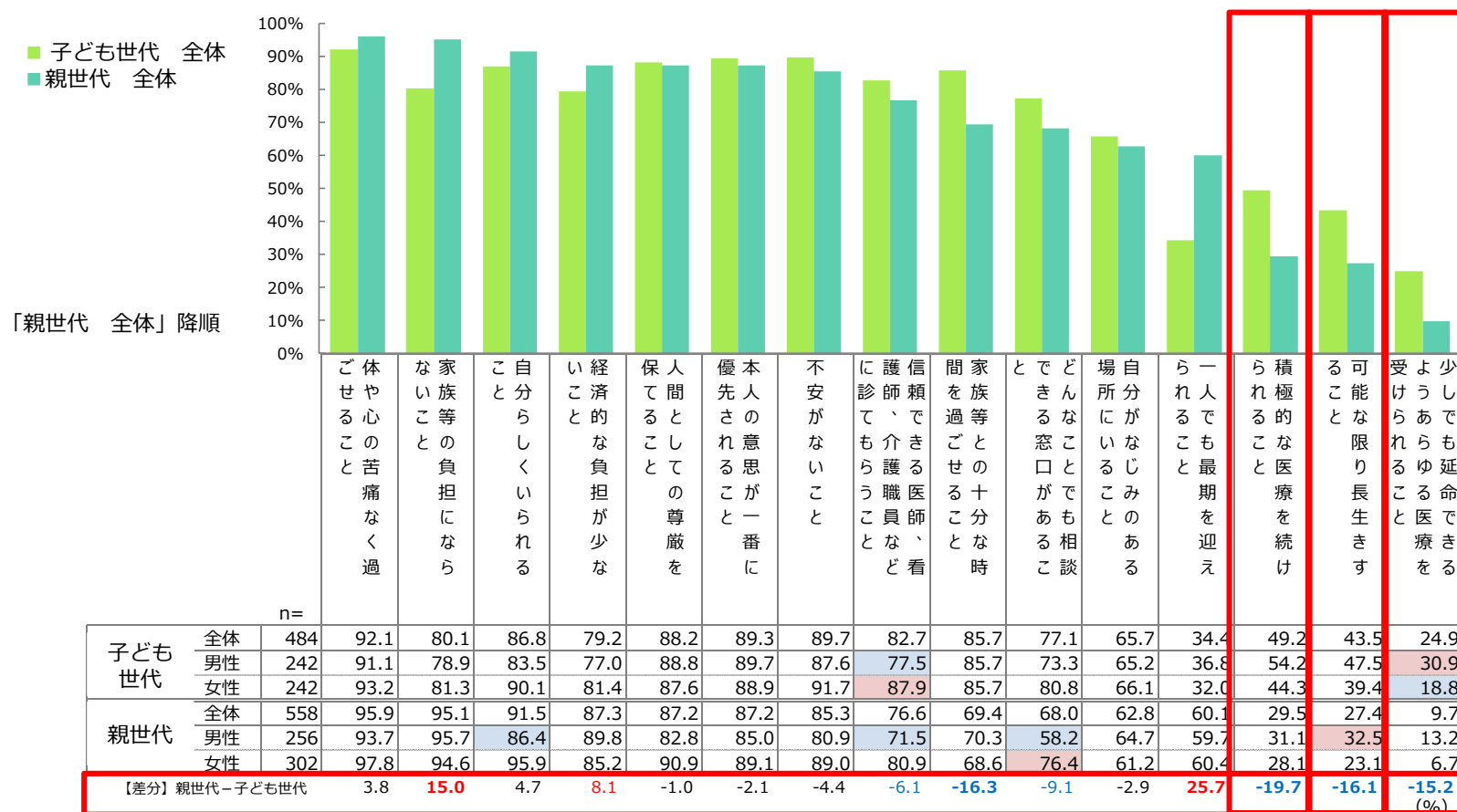


Q.死期が迫り人生の最期をどこで迎えたいかを考える際に、あなたにとって重要だと思うことは何ですか。

Q.親御さんに死期が迫って人生の最期をどこで迎えたいかを考える際に、

あなたからみて親御さんにとって重要だと思うことは何ですか。(単一回答マトリクス形式)

- 子は(親が)「積極的な医療を受けられること」「可能な限り長生きすること」「少しでも延命できるようあらゆる医療を受けられること」を望むと思っている。■
- 親は(子が思うほど)望んでいない。■

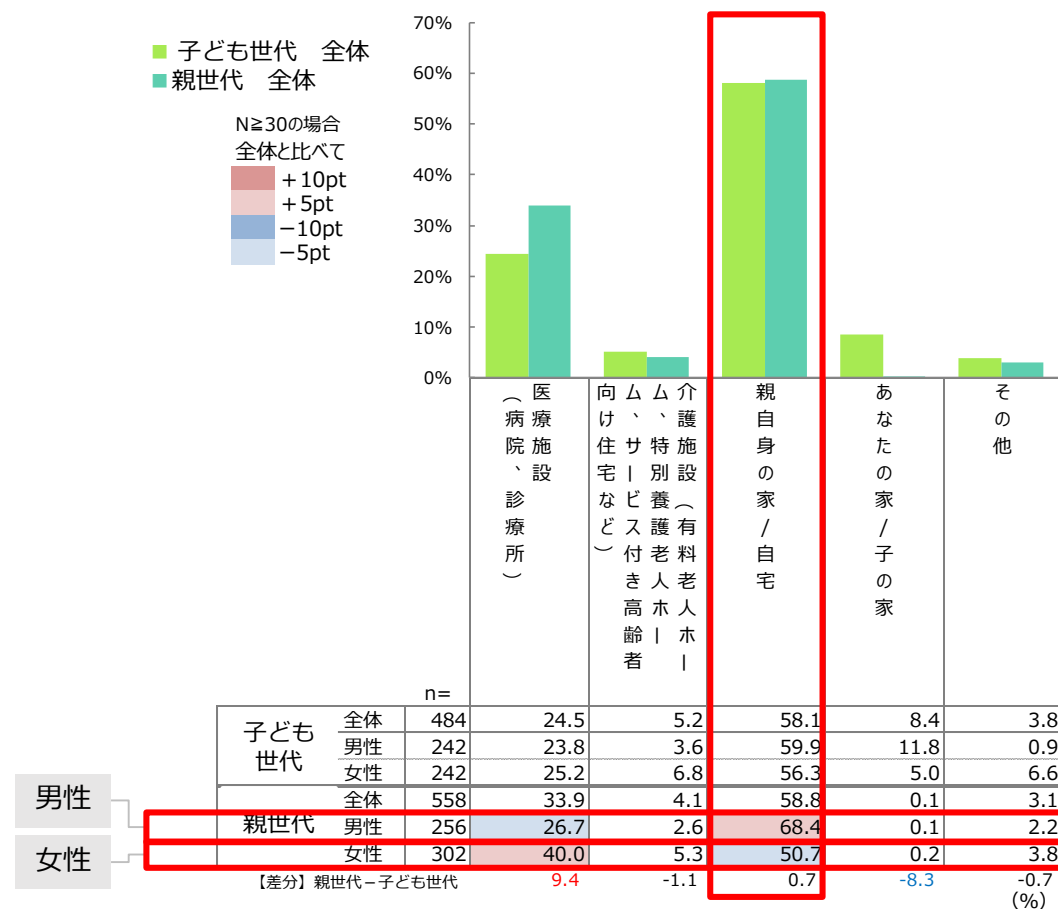


N≥30の場合
全体と比べて
+10pt
+5pt
-10pt
-5pt

Q.あなたは、親御さんに死期が迫っているとわかったときに、人生の最期をどこで迎えさせてあげたいですか。
 Q.あなたは、死期が迫っているとわかったときに、人生の最期をどこで迎えたいですか。（単一/複数回答）

【一番、望ましい場所（単一回答）】

- 最期を、親は、「自宅」で迎えたく、子も（親は）「自宅」で迎えたいと思っている。
- 67～81歳の男性は、7割近くが「自宅」で迎えたいと思っている。
 67～81歳の女性は、5割が「自宅」、4割が「医療施設」で迎えたいと思っている。

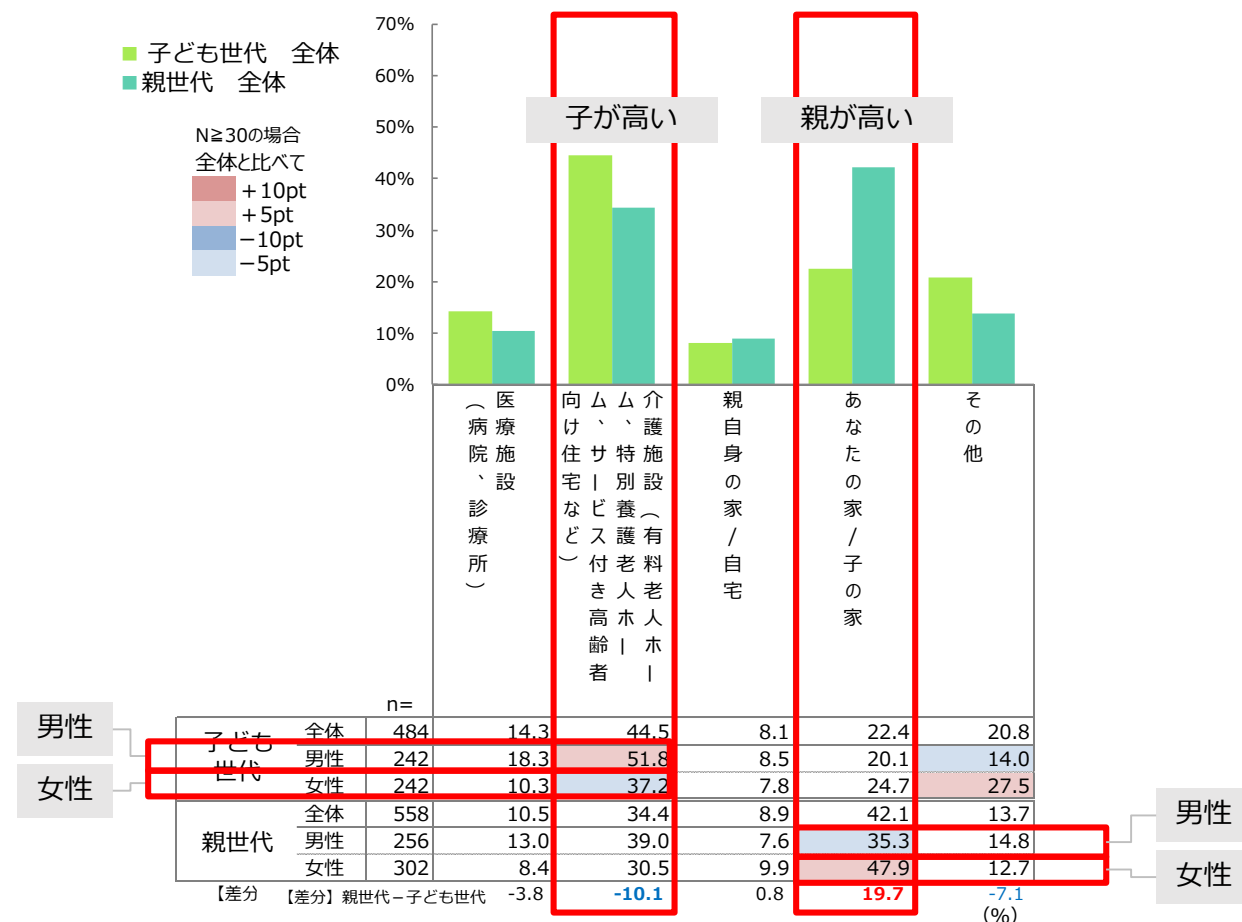


※一部、親世代と子ども世代で提示した項目が異なる。「/」の上（左）が看取り層、「/」の下（右）が看取られ層に提示した項目。

Q.あなたは、親御さんに死期が迫っているとわかったときに、人生の最期をどこで迎えさせてあげたいですか。
 Q.あなたは、死期が迫っているとわかったときに、人生の最期をどこで迎えたいですか。（単一/複数回答）

【絶対に避けたい場所（複数回答）】

- 親は「子の家」を絶対避けたい場所と考えるが、子は（親が）「介護施設」を避けたいと思っている。
- 67～81歳の女性、5割近くが「子の家」を絶対さけたいと思っている。67～81歳の男性に比べて、15%高い。
- 5割の子ども（男性）は、親が介護施設を絶対避けたいと思っている。子ども（女性）に比べて、14%高い。



※一部、親世代と子ども世代で提示した項目が異なる。「/」の上（左）が看取り層、「/」の下（右）が看取られ層に提示した項目。